



HOKURIKU COCA-COLA
BOTTLING CO.,LTD.

Sustainability Report 2025

Hokuriku Coca-Cola Bottling Co.,Ltd.

みんな、つながってる。



INDEX

- 02 経営理念とビジョン
- 03 トップメッセージ
- 04 北陸コカ・コーラグループ事業概要
- 05 北陸コカ・コーラグループ 拠点一覧
- 06 コカ・コーラシステムのサステナビリティ
- 07 2024 年 サステナビリティ 主な活動のサマリー
- 08-13 ■ 環境
- 14-20 ■ 人と社会
- 21-22 ■ 健康とウェルビーイング
- 23-24 北陸コカ・コーラプロダクツ(株) 砺波工場
- 25 北陸コカ・コーラこれまでのあゆみ

【編集方針】

本レポートは、日本のコカ・コーラシステムのサステナビリティに対する考えを示し、またそれに基づく具体的な当社グループの活動内容や取り組みをわかりやすく紹介し、みなさまからのご意見をいただき、持続可能な活動につなげることを目的に発行しています。

【対象期間】

2024 年 1 月 1 日～ 2024 年 12 月 31 日 ※活動内容の一部は 2025 年も含みます

経営理念

私達は、リフレッシュメントの提供を通じて社会に大きな価値を提供し続けます。

経営ビジョン

- 働く喜びが実現でき、元気ある企業を目指します。
- それぞれが自立し、純粋に価値創造を追求し、常に進化発展し続けます。
- 消費者、顧客、地域社会に愛され、信頼され、身近で魅力あふれる企業を目指します。

社 訓

創 意 ... アイディア

奉 仕 ... サービス

勇 気 ... ファイト

大切にしている3つのもの

① 仕事を通じて社会に提供している価値

- リフレッシュメントの質と量を高めていく

② お客様

- お客様に楽しんでいただく、喜んでいただくこと

③仲間

- 製品に携わる全ての仲間を大切にする

【用語について】

■「ボトラー社」は、全国 5 つのボトラー社を指します。

(北海道コカ・コーラボトリング株式会社、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、北陸コカ・コーラボトリング株式会社、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社)

■「コカ・コーラシステム」は、グローバルに事業を展開するコカ・コーラ社を指します。

■「日本のコカ・コーラシステム」は、日本コカ・コーラ株式会社および全国 5 つのボトラー社と関連会社を指します。

■「お客様」には、製品を購入いただいた方のみならず、すべての生活者が含まれます。

本レポートに関するお問い合わせ先：

北陸コカ・コーラボトリング株式会社 経営サポート推進室 広報課 0766-31-1115 (代表)

<https://www.hokuriku.ccbc.co.jp/>

● TOP MESSAGE

私たちは、リフレッシュメントの提供を通じて地域社会と深く結びつき、環境に配慮しながらお客様に満足と“さわやかさ”をお届けします。

当社は、1962年に前身である北陸飲料株式会社を富山県砺波市に創業して以来、ふるさとの豊かな水の恩恵を受け、清涼飲料水の製造・販売を行ってきました。

私たちはこの豊かな水があってこそ事業活動が継続できるものと認識し、感謝の気持ちと責任をもって資源を次世代につなぐ役割があると考えています。

■地域社会への貢献

「令和6年能登半島地震並びに豪雨被害」での経験を活かし、災害発生時の迅速な飲料水の提供や備蓄等の防災への協力など私たちが果たすべき責任をしっかりと果たしていきます。当グループ自体もレジリエンス（強靱な対応力）を高め、様々なリスクに対してBCP対策を講じていきます。

また、行政や企業と共にカーボンニュートラルを目指し、サステナブルな地域社会の発展のため、環境への取組活動を継続していきます。

特に「うるおいの森づくり」植林活動は20周年を迎え、2024年10月に第20回の植林活動と記念イベントを実施しました。今後も行政や企業との協働をさらに広げ活動していきます。またグループ内にPETボトル再資源化のための中間処理会社をもつ強みを活かし、PETボトルの水平リサイクル「ボトル to ボトル」推進に一層力を入れて取り組みます。

■共感性の醸成と信頼

当グループは、DEIを推進します。人々の多様性を認め、一人ひとりが特性や強みを活かして最大限のパフォーマンスを発揮することが重要と考え、社員およびその家族が健康に笑顔で生き生きと働くことが出来るよう取り組んでいきます。

今後も「共感と共助」の心を大切に地域社会と共に歩み、持続可能な発展を目指してまいります。



北陸コカ・コーラボトリング株式会社
代表取締役会長

稲垣 晴彦



北陸コカ・コーラボトリング株式会社
代表取締役社長執行役員

井辻 秀剛

北陸コカ・コーラグループ事業概要

地域に根ざしたリフレッシュメント創造企業を目指し、富山、石川、福井、長野県の皆さまに“さわやかさ”をお届けしています。

商 号 / 北陸コカ・コーラボトリング株式会社

HOKURIKU COCA-COLA BOTTLING CO.,LTD.

本 社 所 在 地 / 〒933-0397 富山県高岡市内島 3550 番地

会 社 設 立 日 / 1962 年 (昭和 37 年) 6 月 5 日

資 本 金 / 1 億円

売 上 高 / 390 億 2,900 万円 (2024 年実績)

代 表 者 / 代表取締役会長 稲垣 晴彦

代表取締役社長執行役員 井辻 秀剛

従 業 員 数 / 343 名 (2025 年 3 月現在 正社員のみ)

事 業 内 容 / 清涼飲料の販売

グループ会社 / 株式会社ベネフレックス

北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社

株式会社なぶーる

【協力会社】

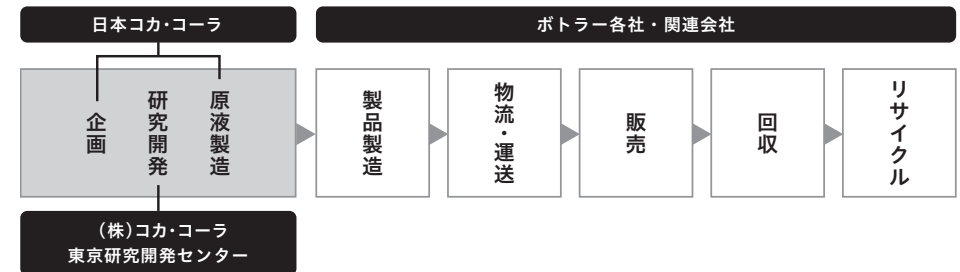
GRN 株式会社、GRN エンジニアリング株式会社、
GRN エコサイクル株式会社、若鶴酒造株式会社、株式会社イオリ、
株式会社リラックス、有限会社ウィック、
GRN テクノソリューション株式会社、GRN ベンチャーズ株式会社

【関係会社】

双爽コーポレーション株式会社、さわやかリテールサポート株式会社



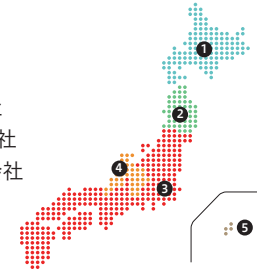
日本のコカ・コーラシステム



日本のコカ・コーラシステムは、原液の供給と製品の企画開発やマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売などを担う5つのボトラー会社および関連会社で構成されています。

日本のボトリングパートナー

- 1 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
- 2 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
- 3 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
- 4 北陸コカ・コーラボトリング株式会社
- 5 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

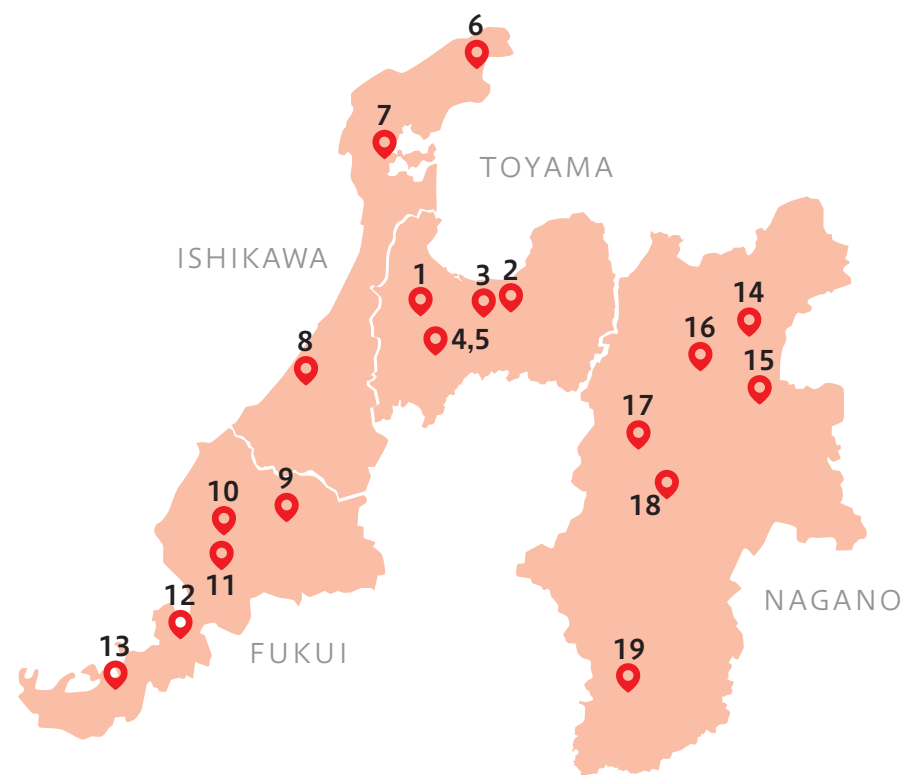


数字で見る北陸コカ・コーラグループ



北陸コカ・コーラグループ 拠点一覧

1. 本 社	933-0397	富山県高岡市内島 3550
2. 富 山 M S C	931-8435	富山県富山市小西 171-1
3. コラボレーション オフィスTOYAMA	930-0858	富山県富山市牛島町9番5号 Dタワー富山 2F
4. 砺 波 工 場	939-1401	富山県砺波市東保 1202-1
5. 砺 波 L C	939-1401	富山県砺波市東保 1202-1
6. 珠 洲 事 業 所	927-1228	石川県珠洲市宝立町柏原西 17
7. 能 登 事 業 所	929-2222	石川県七尾市中島町中島二部 1 番 4
8. 石 川 M S C	924-0855	石川県白山市水島町 480
9. 奥 越 事 業 所	911-0814	福井県勝山市若猪野 25 字下陰山 3-5
10. 福 井 M S C	918-8025	福井県福井市江守中町 7 号 26-1
11. 福 井 L C	915-0861	福井県越前市今宿町 18 号 1
12. 敦 賀 事 業 所	914-0814	福井県敦賀市木崎 5 号北ザマナシ 18-1
13. 小 浜 事 業 所	917-0232	福井県小浜市東市場 34 号村上 7-1
14. 長 野 M S C	382-8585	長野県須坂市大字井上字砂田 1700-8
15. 東 信 事 業 所	389-0514	長野県東御市加沢字原 1406-1
16. 更 埴 L C	387-0023	長野県千曲市八幡 3170
17. 安曇野事業所	399-8204	長野県安曇野市豊科高塚 1178-1
18. 松 本 L C	399-0702	長野県塩尻市大字広丘野村 3015
19. 飯 田 事 業 所	395-0155	長野県飯田市三日市場 1166-2



● MSC…マーケットサービスセンター、LC…ロジスティクスセンター

※ 2025 年 4 月時点

コカ・コーラシステムのサステナビリティ

サステナビリティは、私たちの事業のあらゆる側面に取り入れられており、未来の成長に欠かせない要素といえます。これらの取り組みを通じて、コカ・コーラの使命である『Refresh the World. Make a Difference. (世界中にさわやかさを提供し、前向きな変化をもたらすこと)』の実現を目指しています。

Refresh the World. Make a Difference.

私たちは、世界中で愛されるブランドや、丹精込めて作り上げている様々な飲料を通じ、心身ともに人々をうるおし、さわやかさを提供してまいります。より明るい未来を築くべく、持続可能なビジネスの実現を通じ、あらゆる人々の生活、地域社会、そして地球にとって前向きな変化をもたらすことを目指します。



環境

コカ・コーラシステムは、持続可能な社会の実現に向けて、容器のリサイクル推進、水資源の保全、温室効果ガス排出量の削減など、資源の循環利用や環境負荷の軽減に取り組んでいます。私たちは、ビジネスを通じて前向きな変化をもたらし、地球にとってより持続可能な未来を築くことを目指しています。



人と社会

私たちのすべての活動の中心には「人」がいます。従業員やビジネスに関わるすべての方々、そして拠点を置く地域社会に至るまで、すべての人が重要です。ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン（DEI）の重視や人権の尊重を企業活動の基本とし、地域社会との関わりを通じて、事業を展開する地域にポジティブで具体的な変化をもたらすことを目指しています。



健康とウェルビーイング

私たちは人々の暮らしに寄り添い、健康を最優先に考え、健康で豊かな未来の実現に貢献しています。コカ・コーラシステムは、トクホ（特定保健用食品）や機能性表示食品のラインナップを強化しています。また、適正飲酒の啓発にも取り組んでいます。

2024 年 サステナビリティ 主な活動のサマリー



環境

ENVIRONMENT

- ボトル to ボトルの推進、行政・民間との回収スキーム構築（GRN エコサイクル）
- 水源涵養活動（北陸コカ・コーラ「うるおいの森づくり」活動、水の日工場見学、富山県との共催「森と地下水の環境観察会」の開催）
- 砺波工場の取り組み
- 容器リサイクル処理（GRN エコサイクル）



人と社会

SOCIAL

- 男性育休取得率 100%を実現
- 女性の健康と活躍推進
- 全社一斉美化奉仕活動（2024 年 6 月 1 日、全 22 拠点にて約 570 人の従業員従業員と家族参加）
- 地域ボランティア（富山県射水市六渡寺の海岸清掃）
- 出前講座（水分補給・ものづくり・リサイクル・SDGs 講座）
- 地域スポーツへの支援
- 能登半島地震への対応



健康とウェルビーイング

HEALTH & WELL-BEING

- 健康経営の推進
- CokeON ウォークイベントの展開
- 自立した個性の尊重と多様性の理解
- 北陸コカ・コーラボトリングの製品ポートフォリオ



コカ・コーラシステムは、環境、地域社会に関する重要な課題に対し、ビジネスを通じて前向きな変化をもたらし、さわやかさを届けながら、未来を共創していくことに責任を持って取り組みます。

● 容器

私たちは、PET ボトルやアルミ缶、ガラス瓶など、多様な容器で飲料を提供しており、それぞれが容器廃棄物および温室効果ガス（GHG）排出量の削減において重要な役割を果たしています。使用済み容器の回収率向上を支援し、製品に使用する主要な容器におけるリサイクル材料の使用比率を高めることに注力しています。これらの取り組みを促進するためには、多様なステークホルダーとの連携が不可欠です。

設計

2035 年までに、製品の一次容器（プラスチック、ガラス、アルミニウム）に 35%～40%のリサイクル材料*を使用することを目指しています。この目標には、世界で使用するプラスチックに 30%～35%のリサイクル素材を使用することが含まれます。

※当社は、リサイクル材料含有率のより高い基準が求められる地域を含む、すべての地域において現地の規制を遵守します。



日本のコカ・コーラシステムでは、使用済みの PET ボトルを回収して新たな PET ボトルに再生する「ボトル to ボトル」水平リサイクルを推進し、100% リサイクル PET ボトルを導入しています。



コカ・コーラシステムは、2つの柱を軸に、相互に関連する取り組みに注力し、具体的で測定可能な成果の実現を目指しています。

パートナーと連携した回収

2035 年までに、ボトルや缶の年間供給量のうち 70%～75%に相当する量を確実に回収できるよう、取り組みを推進します。



石川県白山市にあるグループ会社の GRN エコサイクル株式会社では、回収した空容器の分別、圧縮、再資源化を行っています。

容器の回収／処理

PET ボトルの回収から粉砕（フレーク化）までをグループ会社で内製化



GRN エコサイクル株式会社（石川県白山市）

HPIはこちら▶ GRN エコサイクル株式会社 (<https://www.grn-company.com/>)

飲料を扱う企業責任として、2002 年よりグループ会社の GRN エコサイクル株式会社（石川県白山市）で容器のリサイクル事業を発足し、回収した空容器の分別・圧縮・再資源化を 20 年以上に渡り行っています。北陸エリアでは数少ない PET ボトルの粉砕（フレーク化）までを行う中間処理施設となっており、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会の PET ボトル再商品化事業者として認可されています。

リサイクルの流れ

回収・保管

当社事業所からだけでなく、行政からも缶・PET ボトルの回収を行っています。

選別・圧縮

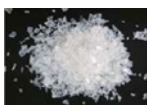
回収された空缶・PET ボトルおよび空びんを種類ごとに分別。缶・PET ボトルは圧縮します。

粉砕・洗浄

事業系・行政系の梱包およびバラの PET ボトルは再度選別され、粉砕（フレーク化）、ラベル剥離、キャップ分離、洗浄し、再生事業者へ搬入されます。

再商品化

資源として処理された加工品は、素材ごとに再商品化利用事業者へ渡され、新しく生まれ変わります。



PET ボトルフレーク



たまご梱包バック



プリフォーム
(PET ボトルの原型)

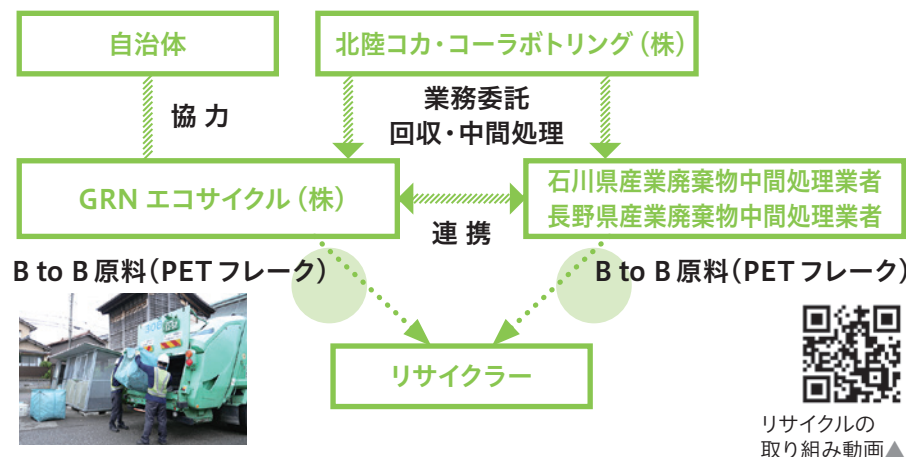


ノベルティグッズ

リサイクルパートナー

ボトル to ボトル (B to B) を促進し、水平リサイクルの実現へ

GRN エコサイクル株式会社が直接回収した PET ボトルだけでなく、地元自治体と協力し、家庭から排出された PET ボトルも再資源化しています。また、石川県・長野県の産業廃棄物中間処理業者と連携・業務委託をし、安定的なリサイクル PET ボトル原料の供給を進めています。



容器の軽量化の促進

日本のコカ・コーラシステムは、1980 年代から缶や PET ボトルなどの容器の軽量化を進め、省資源化に取り組んできました。これからも、内容物の保護やお客様の使いやすさといった容器としての性能を維持・向上させながら、使用する資源量の削減を推進していきます。

42g → 27g
2020年 → 2021年



コカ・コーラTM 700mlPET

新型リサイクルボックスの設置

容器の水平リサイクルを推進するために2025年4月に石川県金沢市の繁華街を中心に新型リサイクルボックスへの交換設置を実施しました。金沢市では国内外からの旅行客が急増し、観光地では賑わいをみせている一方、オーバーツーリズムも課題としております。新型リサイクルボックスには多言語表記のPOPも取り付け、異物混入を削減し、まちの課題解決にもつなげます。北陸コカ・コーラボトリングとGRNエコサイクル社にて効果を検証していきます。



新リサイクルボックスの特徴

1. 投入口

投入口を下向きにして、口径もさらに小さくしました。

2. カラー

SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」のオレンジ色とし、ゴミ箱感を払拭しました。

3. 形状

上蓋にモノを置きにくくするため、段差をなくし傾斜をつけました。

4. ステッカー

オリジナルステッカーを貼り、リサイクルを呼びかけます。外国人の方にも認識してもらうため、英語 / 中国語 / 韓国語表記もあります。

減容機の展開

独自で開発した減容機の設置を開始しました。

減容機は飲み終わったペットボトルのキャップとラベルを分別し、ペットボトル本体を減容機で踏みつぶし、圧縮してボックス内に投入する仕様です。

使用済み容器の回収率向上を目指し、製品に使用する容器におけるリサイクル材料の使用比率を高めることに注力していますが、これらを推進するためには多様なステークホルダーとの連携が不可欠です。

利用者の日頃からの分別意識にもつなげ、ペットボトル回収率と再資源化によるリサイクル比率の向上を目指します。



● 水資源

水は、私たちの製品の多くに含まれる最初の成分であり、事業活動や地域社会の健全な運営に欠かせない重要な資源です。私たちは、水の使用効率を向上させるとともに、安全な水を適切に処理して地域社会に還元するため、事業全体を通じて責任ある水資源管理を推進しています。

うるおいの森づくり



昭和 37 年の創業以来、ふるさとの豊かで良質な地下水の恩恵を受け、清涼飲料の製造・販売を行っています。この豊かな水の恩恵に感謝し、次世代に確実に残していかなければならないと考え、平成 17 年から庄川水系の山間で植林活動を実施し、昨年で 20 年目を迎えました。今後も継続していかなければならない活動となります。



2024年



[うるおいの森 活動実績]

延べ参加者数	5,948 人
植林面積	8.61ha
植林本数	15,631 本

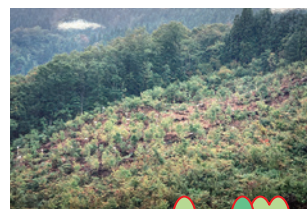
2024 年 10 月末現在



◀ 20 年の活動内容を
まとめた動画

<https://youtu.be/Eu5BRcd6Wgc?si=Rlj5T2NuMn8Cnb53>

2005 年



2014 年



● 気候変動

気候変動に対応するため、十分な情報に基づいた決断力のある行動を取ることは、コカ・コーラシステムにとって最優先事項です。気候変動は、私たちのビジネスやステークホルダーにリスクをもたらします。そのため、持続可能性に関する課題に対して連携したアプローチを図り、コカ・コーラシステムで温室効果ガス (GHG) 排出量の削減に取り組むとともに、ビジネス、バリューチェーン、そして地域社会のレジリエンスの強化に努めています。

温室効果ガス削減への取り組み

私たちは、2019 年を基準年とし、2035 年までに、気温上昇を 1.5℃以内に抑える目標に沿ったスコープ 1、2、3 の排出量の削減を目指します。この目標を達成するためには、新しい技術や再生可能エネルギーへのさらなる投資に加え、各ボトラー社やサプライヤーと協力し、それらの直接的な排出量の削減に取り組むことが重要です。



スコープ 1

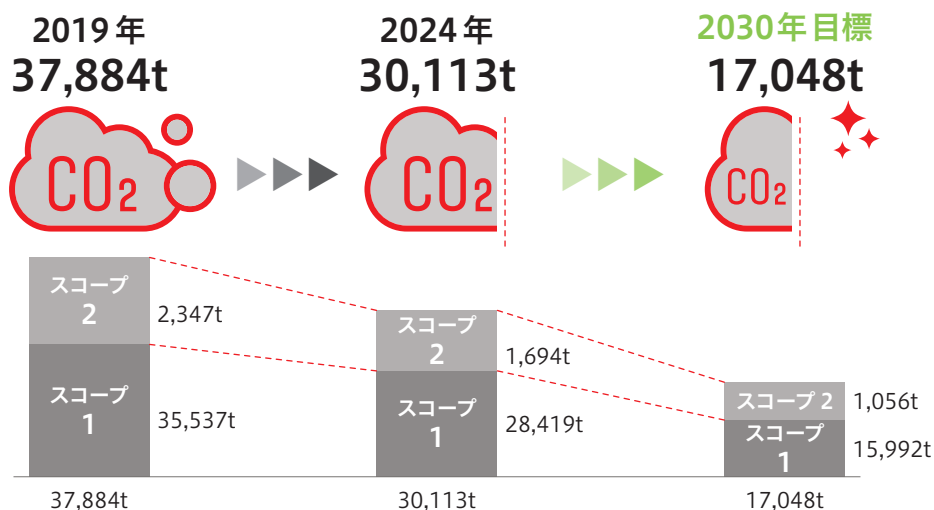
自社による温室効果ガスの直接排出



スコープ 2

他社から供給された電気・熱の使用に伴う間接排出

[CO₂ 排出量の現状 (2019vs2024)]



[車両台数 (2019vs2024)]

2019年 **773台**



2024年 **475台**



事業所数の集約

- ・黒部事業所を閉鎖
- ・諏訪事業所、伊那事業所を閉鎖し、松本ロジスティクスセンターに統合



砺波工場における太陽光発電

広大な工場の屋根を活用し、北陸コカ・コーラボトリングは 2025 年 3 月に北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社と太陽光発電オンサイト PPA サービス（北電 BEST が提供する太陽光発電設備の第三者所有モデルの別称）の契約を締結し、製造棟や倉庫棟の屋根に太陽光パネル 3,084 枚を設置しました。自家消費によって再生可能エネルギー電気を使用し、電力消費量の約 6% を太陽



光でまかない、年間 631t の CO₂ 削減量を見込んでいます。温室効果ガス排出削減を通じて脱炭素社会の実現および地域社会の持続的な発展に向けてさらに貢献することを目指しています。

CO₂ 削減効果や発電電力を砺波工場 1F ホワイエのモニターにて確認できます。



「燃料電池自動車 MIRAI (ミライ)」を導入

脱炭素社会に向けた取組の一環として、トヨタ自動車の新型燃料電池自動車「MIRAI」を導入しました。

当該車両は 2 代目 FCEV の先駆け車両となります。水素と酸素を化学反応させて発電し、モーターを回転させて走行します。そのため、走行時に水のみ排出し、二酸化炭素や有害ガスを排出しないため、脱炭素社会の実現に寄与することが期待されます。また、災害時には外部給電システムにより電気を供給する電源車として活用できるため、大規模災害の発生時には、製品を提供できる災害支援型自動販売機の電源としても利用可能となります。

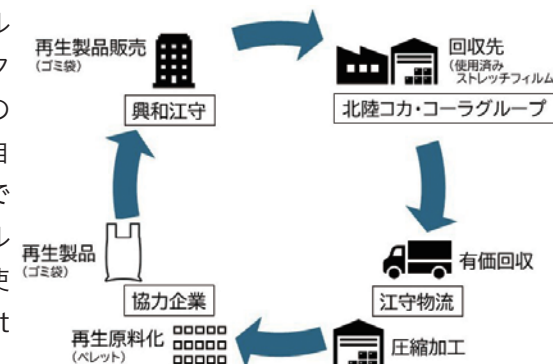


使用済みストレッチフィルムのリサイクルを開始

当社は、興和江守株式会社及び江守物流株式会社と協働し、使用済みストレッチフィルムのリサイクルを開始しました。

回収した使用済みストレッチフィルムは協力会社で再生プラスチック 100% のゴミ袋へ再生され、そのゴミ袋を当社グループが購入し自動販売機横のリサイクルボックスで使用することで、ストレッチフィルムを焼却処分し、新品ゴミ袋を使用した場合と比較して年間 37.2t の CO₂ 削減※が期待できます。

※毎月 1t 回収した場合の想定 CO₂ 削減量



私たちのすべての活動の中心には人々がいます。従業員からビジネスに関わるすべての方々、そして拠点を置く地域社会に至るまで、すべての人が重要です。地域社会との関わりを通じて、私たちは事業を展開する地域やビジネスにポジティブで具体的な変化をもたらすことができます。私たち一人ひとりが、より良い未来のために大きな影響を与えることができるのです。

ジェンダー

男性育休取得率 100% の継続

当社は 2023 年より男性育休取得率 100% を実現し、継続しています。男性の育児休業取得が当たり前の風土が醸成され、女性・男性の区別なく、グループとともに働く従業員の育児休業の取得を推奨しています。誰もが安心して育児休業を取得できるように、出生申請時に本人、上司、人事で休み方について話し合い、最良の選択ができるよう支援しています。



女性の仕事と育児の両立をサポートする企業として、一定基準を満たしていると認定され「くるみん認定」を取得。

育休取得率	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年計画
女性	100%	100%	100%	100%	100%
男性	42%	81%	100%	100%	100%

女性の健康と女性の活躍推進

女性が働きやすい環境づくりと共に、女性の健康課題に関する基礎知識の習得、キャリアや仕事との両立を検討する機会を提供しています。

富山県が主催する「煌めく女性リーダー塾」に毎年参加し、女性の成長マインドに寄与すると共に、女性の健康課題に対するリテラシー向上のためのセミナーの開催や、月経前症候群（PMS）など生理に関する体調不良、不妊治療のための通院、更年期障害、心身の不調に伴う通院などに利用できる特別休暇の導入等により職場における女性のパフォーマンス向上に繋げています。

LGBTQ +

自立した個性の尊重と多様性の理解

当社は従業員が個々の性別、性的指向、性自認にかかわらず、お互いに自立した個性を尊重し、差別やハラスメントのない働きやすい環境の整備に取り組んでいます。

パートナーの性別や婚姻関係の有無にかかわらず、育児休暇や介護休暇などが利用できる人事制度の導入や、LGBTQ+ についての基本的な解説や過去の歴史、アライのための必要な知識などをまとめた「LGBTQ+ アライのためのハンドブック」を他の企業・団体も活用できるように無償公開するなど、社内外への啓発活動を推進しています。



職場における LGBTQ+ への取り組み指標「PRIDE 指標 2024」にて最高評価「ゴールド」を 3 年連続受賞



しいのき緑地から金沢市内を一周する「金沢プライドパレード」に参加

オールジェンダー 誰でもトイレ

高岡本社と砺波工場の多目的トイレを、ジェンダー問わず利用できるトイレへと変更しました。生まれ持った身体の性と心の性が一致しない人達等が気にせずトイレ空間を使用できるようにしました。



人権

人権の尊重は、ザ コカ・コーラ カンパニーの企業活動の基本です。北陸コカ・コーラも自社だけでなくサプライチェーン全体でも人権を尊重する取り組みを進めています。より持続可能なビジネスを実現し、人々の生活や地域社会、そして地球に良い影響を与えることを目指して運営しています。

人権に関する方針

北陸コカ・コーラは、従業員、サプライヤー、各ボトラー社との関係において、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、人権の尊重と促進に努めています。当社の人権方針は、ザ コカ・コーラ カンパニー、その所有する事業体、過半数の株式を保有する事業体、そして当社が管理する施設に適用されます。

▶▶ (参考) ザ コカ・コーラ カンパニーと人権

https://www.coca-cola.com/content/dam/onexp/jp/ja/social/human-rights/cocacola_global-human-rights-policy_japanese.pdf

サプライヤー基本原則

人権方針の原則は、「サプライヤー基本原則」を通じて、私たちのサプライチェーン全体に適用されています。これにより、各ボトラー社を含む製品やサービスを提供する企業にも、私たちが求める価値観や基準に従うことが求められます。

▶▶ (参考) サプライヤー基本原則実施ガイド

<https://www.coca-colacompany.com/content/dam/company/us/en/policies/pdf/human-workplace-rights/supplier-guiding-principles/supplier-guiding-principles-brochure-japanese.pdf>

障がい者

全肢連への支援

コカ・コーラシステムでは、一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会(全肢連)に対し、全肢連のステッカー付き自動販売機の売上金の一部を全肢連・県肢連の活動費として寄付するなど、1980 年より40 年以上にわたり支援しています。

特性、能力を発揮し輝ける環境

障がいのある方が働きやすい環境や長期的かつ安定的に活躍できる職場づくりに取り組み、法定を大幅に上回る雇用率を実現しています。

障がい者雇用に取り組む企業の経営者や人事・労務担当者を対象とした障がい者雇用セミナーを開催するなど、共に働く人の多様性と受容性を尊重し、障がいのある方が働きがいを持ち、特性、能力を発揮して、それぞれに輝ける環境の実現を目指しています。



災害協定

本業を通じた社会貢献として、災害時における飲料提供協力などに関する自治体との協定をもとに、優先的な飲料の提供や、災害支援自動販売機の設置を進めています。この災害支援自動販売機は、遠隔操作でも自動販売機内の飲料を無料で取り出すことが可能で、自動販売機ならではの機能を活用した支援を行っています。



【災害協定締結状況】

協定締結自治体数	設置台数
長野県	38
富山県	17
石川県	22
福井県	7
合 計	84

2024.12.31 現在

水分補給セミナー

正しい水分補給の方法や熱中症のメカニズムをお伝えし、熱中症予防に役立てていただくために、お取引企業を中心に水分補給セミナーを開催しております。お取引企業に限らず、学校、施設、スポーツクラブ、障がい者支援施設などにも出張し、地域の皆さまの健康づくりのサポートを進めています。また、オンラインでの講座も開催しています。



清掃ボランティア活動

社員一斉美化奉仕活動

1979 年より、地域社会への貢献と環境美化意識の向上を目的とし、毎年グループ社員が一斉に参加して主要道路や公園、海岸、河川敷など約 22 ヶ所の清掃活動を実施しています。



各地に広がる清掃活動の輪

地域の皆さんと連携し、各事業所でも継続的に取り組んでいます。

- 富山県では六波寺自治会や地元ボランティアグループ「六友会」とともに、射水市の六波寺海岸での海岸清掃に社員有志で参加しています。
- 長野県では、諏訪湖アダプト・プログラムに参加し、諏訪湖岸や、道路沿いの除草・清掃作業に参加しています。



長野県立こども病院支援自販機（信州）

長野県内唯一の小児専門病院である長野県立こども病院は 2015 年度から高度専門医療や人材育成の事業支援のためにこども病院寄付プログラムを開始しました。当社はその主旨に賛同し、2017 年 4 月に長野県立こども病院にはじめて支援自販機を設置し、2025 年 3 月現在では 33 社 161 台まで展開しています。寄付金は未来ある子どもたちの療養環境の整備に役立てていただいています。



【支援金額実績】

	支援金額
2017 年度	196,457 円
2018 年度	536,353 円
2019 年度	520,521 円
2020 年度	444,496 円
2021 年度	510,245 円
2022 年度	664,411 円
2023 年度	735,921 円
2024 年度	845,360 円
合 計	4,453,764 円

地域スポーツへの支援

スポーツシーンのトップに位置する地域スポーツチームへの応援を通じて、地域へ感動や希望、笑顔を届ける活動を行っています。各スポーツチームへは、コカ・コーラ社製品を通じてさわやかさと、活力・希望を提供し、支援機能付き自動販売機の売り上げの一部を、チームの活動資金として寄付しています。

サッカー



- 1 カターレ富山**
設立 2007年
クラブ所在地 富山県富山市



- 2 富山新庄クラブ**
設立 1968年
クラブ所在地 富山県富山市



- 3 ツエーゲン金沢**
設立 1956年
クラブ所在地 石川県金沢市



- 4 福井ユナイテッドフットボールクラブ**
設立 2019年
クラブ所在地 福井県福井市



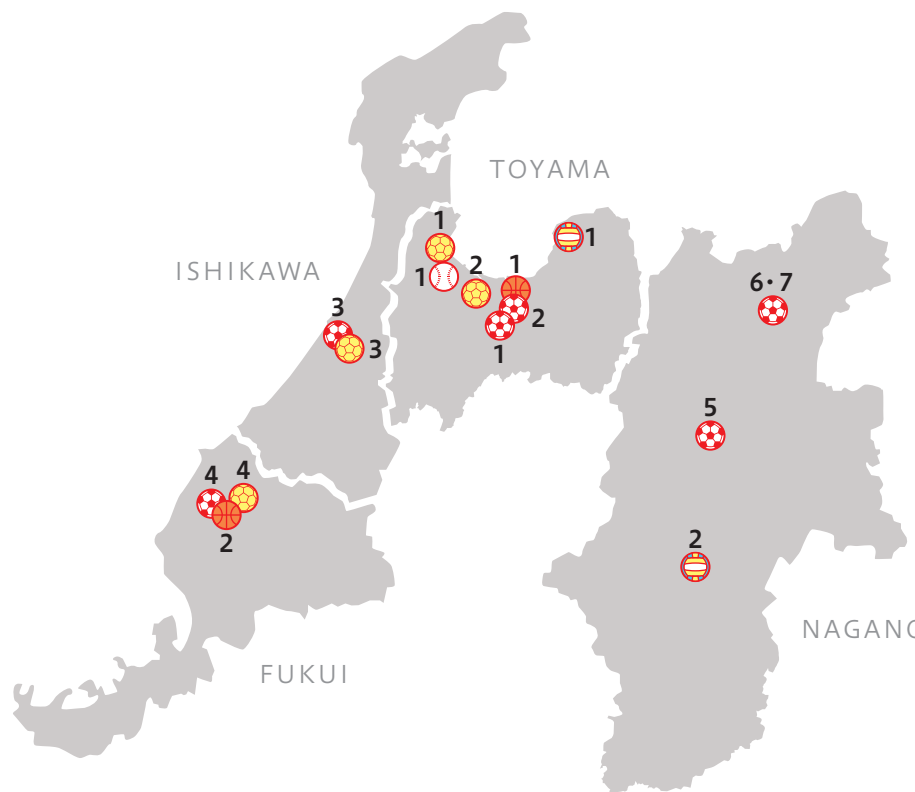
- 5 松本山雅FC**
設立 1965年
クラブ所在地 長野県松本市



- 6 AC長野パルセイロ**
設立 1990年
クラブ所在地 長野県長野市



- 7 AC長野パルセイロ・レディース**
設立 2000年
クラブ所在地 長野県長野市



ハンドボール



- 1 富山ドリームズ**
設立 2020年
クラブ所在地 富山県氷見市



- 2 アランマーレ富山**
設立 2016年
クラブ所在地 富山県射水市



- 3 北國ハニービー石川**
設立 1975年
クラブ所在地 石川県金沢市



- 4 福井永平寺ブルーサンダー**
設立 2022年
クラブ所在地 福井県永平寺町

バスケットボール



- 1 富山グラウジーズ**
設立 2006年
クラブ所在地 富山県富山市



- 2 福井ブローウィングス**
設立 2022年
クラブ所在地 福井県福井市

バレーボール



- 1 KUROBE アクアフェアリーズ富山**
設立 2017年
クラブ所在地 富山県黒部市



- 2 VC長野トライデント**
設立 2008年
クラブ所在地 長野県南箕輪村

野球



- 1 富山GRNサンダーバース**
設立 2006年
クラブ所在地 富山県高岡市

公益財団法人 稲垣小太郎記念奨学財団

2005年3月1日に創設者である稲垣 小太郎の30回忌を記念して設立した当財団では、青少年の向学の志にできる限りの援助の手をさしのべ、富山県の教育振興と地域社会にお役に立てればと考え、これまでに136名の富山県内高等学校出身の学生に奨学援助を行っています。



公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団奨学金

心豊かでたくましい人づくり (Healthy Active Life) を理念とし、環境教育、教育支援を柱として、次世代を担う青少年の育成を通じ、豊かな社会の形成を目指しています。このうち、奨学支援では、大学在籍中の支援を行い、これまでに昭和41年度に第1期生を採用して以来延べ237名の奨学生を採用し、232名の卒業生(当社エリア)を送り出しています。

なお、2021年度からは環境、特に地球・環境資源関連領域に関して、より専門的な研究を行う大学生の大学院進学も対象としています。



い・ろ・は・す「水源保全プロジェクト」

「い・ろ・は・す」の全国8ヶ所の採水地をはじめとした全国23ヶ所の水源保全などの活動を行う団体に、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団を通じて、「い・ろ・は・す」の売上の一部を寄付し、水資源の保護活動を支援しています。



[2024 年度 寄付金額]

団体名		寄付金額
富山県	富山県(富山県農林水産部森林政策課)	86,954 円
石川県	公益財団法人 石川県緑化推進委員会	113,417 円
福井県	公益社団法人 福井県緑化推進委員会	68,050 円
長野県	長野県(長野県林務部森林政策課)	109,636 円
合 計		378,057 円



とやまの清らかな水環境・豊かな水資源を保全しつつ、その素晴らしさを県内外にPRするため、富山県と公益財団法人とやま環境財団と協働で「水の王国とやまプロジェクト」を立ち上げ、協議を進めています。

学校への出前授業

富山県中学生ものづくり事業

富山県のものづくり人材の育成を目指し、県内の中学生に「学ぶおもしろさ」、「学びへの挑戦」を体験してもらう事業に北陸コカ・コーラも参加しています。少子化や「理科離れ」が課題となる中、2024年度は富山県内の中学校17校で約1,000名の学生に対し、ものづくりの魅力や将来の進路を考えるにあたって、中学生のうちに身に付けて欲しいことなどを、講師の体験談を交えながら講義を行っています。



SDGs 講座の実施

地域の小学校や中学校をはじめ、自治体や自治会などでも北陸コカ・コーラにおけるSDGsの取り組みを「SDGs 講座」として実施しました。PETボトルは正しい分別・処理をすれば資源になるということの理解を深めてもらうため、コカ・コーラシステム全体で取り組んでいる動画を交えて説明しています。

能登半島地震への対応

2024 年（令和 6 年）1 月 1 日 16 時 10 分、マグニチュード 7.6、石川県輪島市と羽咋郡志賀町で最大震度 7 を観測する能登半島地震が発生しました。発生当日より各行政から飲料水の要請があり、翌日 2 日に危機管理委員会を立ち上げ対応にあたりました。これまでに累計 72 万本の「い・ろ・は・す」「綾鷹」「アクエリアス」を支援物資として提供しています。（2024 年 12 月末現在）

また、6 月には売上 1 本につき 10 円が石川県を通じて義援金として被災者のもとに届けられる「酒場の檸檬堂 能登復興応援ボトル」を発売し、全国の飲食店で採用いただいています。2024 年分として石川県の能登半島地震に係る災害義援金に 972,960 円を寄付しました。



支援物資の拠点となった石川県産業展示館へ飲料を配送



被災地域の皆さんに、ほっと一息ついていただこうと、コスタコーヒーやジョージアの限定オリジナルボトルを配布するサンプリングを道の駅や仮設住宅等で実施しました。



**お一人様1本、
北陸復興支援 限定デザインの
ジョージアを無料でプレゼント！**

ジョージア THE ブラック、
ジョージア THE ラテの2種類から
好きな製品をお選びいただけます。

災害時、人的操作で機内の飲料を搬出することができる災害対応型自動販売機は昨年の能登半島地震で 70 台がフリー稼働し、約 13,000 本を無償提供しました。お取引先からのニーズも多く主にキースイッチ型を増やし、台数は去年の 1,700 台から 2,000 台に増えました。（2025 年 3 月現在、エリア 4 県計）

ライフラインの復旧や支援物資が届くまでの間、一時的に飲料を提供するインフラとしての役割を担うことが可能ですが、通電しないと使えないため、水素で発電する自販機（大阪・関西万博で初設置）や自動車から電源を引くなど全国のコカ・コーラシステムで対策強化に向け引き続き検討しています。



コカ・コーラシステムからの寄付

●米国コカ・コーラ財団から 4,500 万円

●公益財団法人コカ・コーラ
教育・環境財団から 2,200 万円

を被災地域、特に能登半島で医療サポートを提供している特定非営利活動法人ジャパンハートに寄付しました。

コカ・コーラシステムからの義援金 1,000 万円と、当社から拠出した 1,000 万円、合わせて 2,000 万円の基金を作り、半分を被害の大きかった社員に支給しました。残りの半分は、災害により多くの困難に直面している子どもたちが安心して学び、成長していける環境を取り戻せるよう、

●珠洲市教育委員会へ 500 万円

●輪島市教育委員会へ 500 万円

を少しでもお役に立ちたいという思いで寄付しました。



GRN エコサイクル社が災害復興支援に協力

震災がれき選別／運搬支援

GRN エコサイクル社では石川県資源循環協会と連携し、震災がれきの集積場での選別作業に延べ 8 名が支援しました。また、被災家屋の解体で発生するがれき処理が進まないことを受け、震災がれきの運搬事業にも着手しています。



避難所のペットボトル回収

避難所 15 カ所のペットボトル回収について自治体から依頼を受け、被災地のペットボトル等の回収を行いました。また、震災当時輪島市から孤立していた門前地区で飲料容器の無償回収を実施しました。



回収した社員
によるレポート

被災地のペットボトル等の回収へ向かえたのは震災から 16 日後。道路が分断されていたり、倒木による通行止めや液状化により、思うように運搬車が進めない状態でした。やっとの思いで資源集積場に行ったら、ペットボトルが綺麗になっている状態を見て、胸が詰まりました。そして、「来てくれてありがとう」と何度もおっしゃってくださる姿に本当に涙が出る思いでした。

被災地ボトルで環境と社会の復興プロジェクト

- 被災地で出たペットボトルを再利用してバッグを作り、クラウドファンディングでバッグを販売して得た売上金を義援金として寄付する震災復興プロジェクトに GRN エコサイクル社が参加しました。
- 約 270 万円を売り上げ、そこから経費を引いた 115 万 6,240 円を日本赤十字社石川県支部に義援金として寄付しました。



日本コカ・コーラ LOVE HOKURIKU 復興支援プロジェクト

日本コカ・コーラ（東京都渋谷区）では「LOVE HOKURIKU」という復興支援プロジェクトが立ち上げられ、日本コカ・コーラのカフェテリアでは、“北陸応援ランチフェア”を開催し、その収益金を災害に見舞われた被災地に寄付しました。



2024 年 10 月 26 日（土）・27 日（日）の 2 日間、1 月の震災や 9 月の水害で大きな被害を受けた穴水町や能登町の仮設住宅、輪島市で開催された“チーム輪島人プレゼンツ”振る舞いだョ！全員集合”などで、コカ・コーラ社製品及びスナックと憩いの場を無償提供するというボランティアを行いました。

穴水町と能登町の仮設住宅集会場では、被災地の皆さんがリフレッシュできるひと時を過ごせるよう、コカ・コーラならではの交流の場を作り、多くの入居者の皆さんとコミュニケーションを図りました。

社員によるボランティア



能登半島地震で地元の七尾市が被災し、少しでも力になれることがあればとの思いでボランティアに参加しました。被災した家屋の家財出しやブロック塀の解体、倒壊した土壁の回収など様々な活動をさせていただきました。



この日手伝った家は 2 階の床が抜け、1 階が散乱しておりとても住める状態ではありませんでした。特に印象に残ったのは、震災当時のままおせち料理がテーブルに放置されていた事です。復興が進んでいるかのように感じられませんが、実際に現地に行ってみると復興への道はまだ険しいと痛感させられました。力になれる事がある限り、今後も積極的に参加したいと思います。

ある日の
ボランティアレポート



近年、生活様式の変化により、消費者の健康志向はますます高まっています。コカ・コーラシステムは、人々の暮らしに寄り添う企業として、お客様の健康志向ニーズにお応えするトクホ（特定保健用食品）や機能性表示食品のラインナップを強化しています。

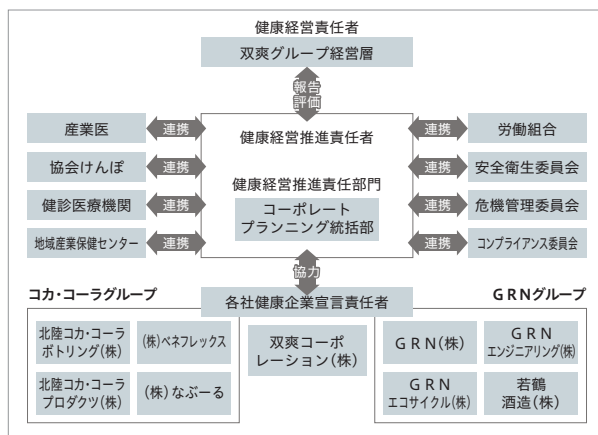
健康が全ての基盤

従業員の健康がすべての基盤であるとの認識のもと、「従業員および家族の心身の健康保持・増進」および「健康で快適な職場環境の形成」を目的に健康経営に取り組んでいます。社員の健康への経営的な取り組みが評価され「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に5年連続で認定されました。



一双爽グループの健康宣言

働く喜びが実感でき、元気ある企業を目指します。従業員の健康がすべての基盤であるとの認識のもと、健康管理を経営的な視点でとらえ、企業活動の一環として戦略的に取り組んでいくことを宣言いたします。



幸福を感じて働ける喜びを仲間と共有

従業員および組織の「心と体」の健康状態を「見える化」し、誰もが尊重され、持続的に幸せを実感しながら自分らしく活躍できるウェルビーイングな環境を整備しています。

全事業所で実施する「双爽横丁」では、年齢・世代・性別・業種・職種・職階のあらゆる枠を超え、従業員同士やトップマネジメントとの直接的なコミュニケーションを深め、建設的な関係性やワークモチベーションの向上に繋げています。



CokeON ウォークイベントの展開

運動習慣のきっかけ作りに、CokeON アプリを活用したウォーキングイベントを毎年開催し、健康で楽しく働くことをサポートしています。継続的なウォーキングイベントの開催は社員の運動習慣確立、自律的な健康保持・増進活動の一助となっています。

お客様と共同開催するイベントは、日頃は接点のない社員同士や家族同士が交流を深める機会となり、従業員が安心して健康で楽しく働くことをサポートしています。



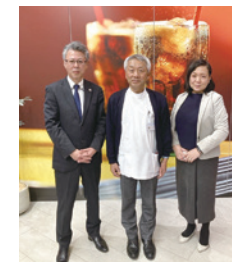
三協立山株式会社様とウォーキングイベントを共同開催（2024年）

ともに働く仲間とその家族の生活を充実したものに

従業員とその家族のライフステージの変化に寄り添える会社として、全従業員が家族を想い、絆を深める貴重な時間を過ごすために「柔軟な働き方」を選択できます。育児休業はもちろんのこと、近年、誰もが直面する可能性のある介護について、介護と仕事を両立しながら働き続けることのできる会社制度の整備や申請手続きの簡素化、無理のないケアを行うための準備や心構えなどについて学び、“介護に直面しても気軽に相談でき、働き続けられる職場作り”を推進しています。

地域の皆様とともに

当社は「とやま健康経営を楽しむ会」に協賛し、参加しています。一般社団法人 北陸予防医学協会 施設長 医学博士 山上 孝司先生を発起人として、健康経営の真の価値を共に検討する場として、県内外の経営者、人事・総務担当者、産業保健師が毎月、当社TOYAMAコラボレーションオフィスに集まり、事例紹介を交えながらディスカッションし、参加各社それぞれの健康経営のレベルを上げるべく、様々な活動を展開しています。



一般社団法人 北陸予防医学協会施設長 医学博士 山上 孝司先生（写真中央）《TOYAMA コラボレーションオフィスにて》

日本のお客様の多様なニーズに応える製品ポートフォリオ

コカ・コーラシステムの事業活動は、「いつでも、どこでも、誰にでも」おいしい飲料をお客様にお届けしたいという願いとともに世界に広がり、その願いは「コカ・コーラ」の誕生から 139 年経過した今も受け継がれています。

日本のコカ・コーラシステムは、炭酸飲料をはじめ、茶系飲料、スポーツ飲料、水など幅広いカテゴリーにおいて、お客様のライフスタイルや嗜好に寄り添った製品を展開しています。



※小数点以下は四捨五入で表記。※北陸コカ・コーラボトリングの製品ポートフォリオ。2024 年 12 月数量ベース。北陸コカ・コーラ調べ。

『健康』に着目したトクホ・機能性表示食品

コカ・コーラシステムは、人々の暮らしに寄り添う企業として、お客様の健康志向ニーズにお応えするトクホ（特定保健用食品）や機能性表示食品のラインナップを強化しています。市場やお客様の健康志向ニーズにいち早く応え、革新的な製品を開発・発売してきました。今後もトクホ（特定保健用食品）・機能性表示食品の拡充を図り、多くのお客様にご飲用いただける製品を提供してまいります。

適正飲酒のための取り組み

日本コカ・コーラは、適正飲酒の啓発を目指し、自社アルコールブランドのマーケティング活動に責任を持って取り組んでいます。主要な取り組み分野適正飲酒の啓発やお酒と健康に関する情報発信など、アルコールの有害な使用の低減および防止に向けて、お客さまへの適切な情報提供に努めています。

北陸コカ・コーラプロダクツ（株） 砺波工場

品質・食品安全

豊かな自然に抱かれた砺波工場では、大型・小型兼用無菌ライン、缶ライン、PETライン、ガラスびんラインの計5ラインを備え、80種類以上の製品を製造できる体制を整えています。原材料の納入から製品出荷まで、すべての製造工程において、製品の品質と安全性を守るために、厳しく定めた独自の品質管理を行っています。

また、砺波工場は、品質マネジメントシステムの規格「ISO9001」、環境マネジメントシステムの規格「ISO14001」および食品安全システムの規格「FSSC22000」や労働安全衛生マネジメントシステムの規格「ISO45001」の認証を受けています。

ゼロ・エミッションに向けての取り組み

大気や地下水など、周辺の環境にあたる環境負荷低減および温室効果ガス（CO₂）削減のため、工場の燃料は大気を汚染する物質が少ないLPガスを使用しています。また、工場内の省エネにも努め、廃棄物排出ゼロに向けて積極的に取り組んでいます。

厳密な衛生管理

製品の製造工程で菌の混入を防ぐ無菌充填設備の導入をはじめ、製造ラインや使用器具の定期的な洗浄・殺菌はもちろん、工場で働く従業員の健康状態もチェックするなど、すべてにおいて衛生管理を徹底し、常に清潔な状態が保たれています。

工場での太陽光発電

砺波工場では、2013年から屋根の一部を貸し出し太陽光発電事業に協力しています。さらに広大な工場の屋根を活用して製造棟や倉庫棟の屋根に太陽光パネル3,084枚を設置し、自家消費によって再生可能エネルギー電気を使用しています。電力消費量の約6%を太陽光でまかない、年間631tのCO₂削減量を見込んでいます。温室効果ガス排出削減を通じて脱炭素社会の実現および地域社会の持続的な発展に向けてさらに貢献することを目指しています。



エレクトロン・ビーム殺菌

砺波工場では、洗浄水と薬剤を使わずエレクトロン・ビーム（電子線）でPETボトルの殺菌を行う製造ライン



を2011年に全世界のコカ・コーラ工場で初めて導入し、水の使用量を大幅に削減することに成功しました。

水資源管理の推進

庄川水系の良質な地下水に恵まれた砺波工場では、工場での製造工程における水の使用量の管理を徹底しています。製品殺菌工程で使用した温水を冷却し再利用する「冷却水節水システム」を導入し、水使用を少なくした生産ラインの導入など水使用量の削減に積極的に取り組んでいます。

利用された水は最終的に排出処理設備を通し、微生物を使う「活性汚泥法」で処理され、環境への負荷が少ない方法で河川に放流します。その際の水質については、水質汚濁防止法や条例を遵守することはもちろん、排水量を削減し、よりきれいな水を自然に還せるよう努めています。

高品質の水づくり

水は私たちコカ・コーラの命の源。コカ・コーラシステムの水質に関する基準は、世界保健機関（WHO）の分析項目ならびに分析値を取り入れています。砺波工場でも、ザ コカ・コーラカンパニーが世界共通で定めている基準と日本国内の水道法や水質基準と照らし合わせて、より厳しい基準値を採用しています。

自ら課した厳しい基準値のもと、多様な工程を経て高品質の水につくり替える。この厳しい水処理工程を私たちは「水をみがく」と呼んでいます。

コカ・コーラについて
もっと知りたい！

砺波工場 見学のご案内

〈所在地〉北陸コカ・コーラ砺波工場 〒939-1401 富山県砺波市東保 1202-1

●砺波 IC より…車で約 15 分

●高岡砺波スマート IC（ETC 専用）より…車で約 5 分

〈見学対応曜日〉月・水・金 10:00 ～ / 13:30 ～

※アップサイクルを学ぶランプづくり+工場見学については、13:30 ～の 1 回のみ

〈ご予約方法〉工場見学をご希望の方は、予約カレンダー
から WEB 予約によりお申し込みください。

砺波工場見学
予約ページへ



〈駐車場〉普通車 30 台、大型バス 2 台（中型バスの場合 3 台）

ご来場手段（乗用車・バス）によって、入場口が異なります。

ご確認の上ご来場くださいますようお願いいたします。

〈見学コース〉2 つのコースをご準備

① 工場見学 約 50 分

（工場概要説明、製造工程見学、コカ・コーラ製品の試飲）

② アップサイクルを学ぶランプづくり+工場見学 約 100 分

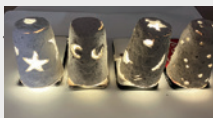
定員 / 20 名

対象 / 中学生以上（小学生以下のお客様は親子での参加が条件となります）

予約受付 / 予約希望日の 7 日前まで

料金 / ①コース…無料 ②コース…1,000 円（税込）（自動販売機有料）※お土産付き

②コースに新設！
“コーヒーかす”を
再利用したランプづくり体験



北陸コカ・コーラ さわやかパーク

砺波工場の隣にある北陸コカ・コーラ さわやかパークは、北陸コカ・コーラ
ボトリング株式会社創立 50 周年を記念してつくられた“緑あふれる憩いの公
園”です。季節に合った色とりどりのお花を楽しむことができる、地域の皆さ
んに親しまれる公園を目指しています。

Data. 富山県砺波市東保 1202-1 [利用時間 / 9:00 ～ 17:00]
専用駐車場有り ●開園時間帯は常時駐車できます（予約不要）



さわやかパークに「だれでもトイレ」を完備。気軽にお越しください。



水の日工場見学の実施

2024 年 8 月 1 日、近隣小学校
の児童 15 名に大切な資源である
水について学び、関心を高めても
らうために
「水の日
工場見学」
を開催し
ました。



地元の子どもたちとの交流イベント



砺波工場近くのこども園の年長児さんが昨秋植え付けたチューリップの球根がきれいな花を咲かせ、その花を描くイベントを毎年開催しております。

北陸コカ・コーラサマーフェスティバル

毎年 8 月 最終
日曜日、砺波工
場を一日開放し
「サマーフェス
ティバル」を開
催しています。
毎年 1 万人を超
えるお客様にお越しいただき、地域の定番行事になっています。



北陸コカ・コーラボトリング株式会社沿革

- 1962 ● 北陸飲料株式会社設立
- 1963 ● 北陸コカ・コーラボトリング株式会社に商号変更
高岡工場新設
- 1964 ● 本社を富山県高岡市内島 3550 番地に移転
- 1970 ● 石川県松任市 (現 白山市) に石川工場新設
- 1975 ● 福井県武生市 (現 越前市) に武生工場新設
「ジョージア」缶コーヒー発売
- 1984 ● 長野コカ・コーラボトリング株式会社の経営権取得
- 1998 ● 富山県砺波市に砺波工場新設
- 1999 ● 長野コカ・コーラボトリング株式会社と合併
- 2002 ● 石川リサイクルセンター新設
- 2003 ● 砺波工場に無菌充填 PET 製造ラインを新設
本社社屋増改築工事竣工
情報システム部門を分社し、株式会社ヒスコム設立
物流部門を分社し、北陸ロジスティクス株式会社設立
製造部門を分社し、北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社設立
- 2004 ● 販売機器メンテナンス QC 部門を分社し、北陸マシンテクノサービス株式会社設立
飲料容器リサイクル部門を分社し、株式会社北陸リサイクルセンター設立
北陸長野キャンティーン株式会社から株式会社ベネフレックスに商号変更
- 2009 ● 砺波工場に無菌充填大型 PET 製造ラインを増設
「い・ろ・は・す」天然水ボトリング開始
- 2011 ● 砺波工場に EB 無菌充填 PET 製造ライン新設
- 2012 ● 創立 50 周年記念事業「さわやかパーク」造成
- 2015 ● GRN ホールディングス株式会社 (現 GRN 株式会社) を新設分割により設立
- 2019 ● 砺波工場に新無菌充填 NAT 製造ラインを新設
- 2021 ● 砺波工場にてレモンサワー「檸檬堂」の生産を開始
- 2022 ● 創立 60 周年
- 2023 ● 資本金 1 億円に減資
- 2024 ● コラボレーションオフィス TOYAMA 新設
松本ロジスティクスセンター新設
- 2025 ● 黒部事業所を閉鎖
諏訪事業所、伊那事業所を閉鎖し、松本ロジスティクスセンターに統合

▼ 詳細はこちら



▶▶ ホームページ



▶▶ Instagram



当社の活動はホームページ、
Instagram、X、YouTube
からもご覧いただけます



▶▶ X



▶▶ YouTube



アンケートに
ご協力を
お願いします



サステナビリティレポートをご覧ください
ありがとうございます。内容について、
皆さまのご意見をお聞かせください。当社
の今後の活動に役立てて参ります。

click ▼

<https://forms.office.com/r/Yy46HykY9e7orign=jprLink>

Coca-Cola
HOKURIKU COCA-COLA
BOTTLING CO.,LTD.

北陸コカ・コーラボトリング株式会社
COPYRIGHT© Hokuriku Coca-Cola Bottling Co.,Ltd.